

MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告



もっと利用しやすい保育園に

きょうだいを通う保育園への 転園申請に調整指数で加点

「きょうだいで同じ保育園に通わせたい」という保護者の声が、市の姿勢を変えました！

2023年度の入所申請から、きょうだいを通う保育園への転園申請に対し、調整指数で加点されることになりました。

私も、次女と3女が別々の保育園に通っていた経験もあり、議会で改善を求めました。

今回は、「転園申請」に限定されていますが、新規入所でも加点されるように引き続き取り組んでいきます。



おむつの持ち帰り不要に

2023年4月から、保育園で使用したおむつの持ち帰りが不要になります。

これまで、議会で何度も「使用済みおむつの保育園での処理」を提案してきました。

市は、新年度から公立保育園でおむつの処理を始めるほか、私立保育園に対しても園で処理をするように要請し、必要となるゴミ袋費用の減免を行うこととしています。

これからも、保育園に子どもを預ける保護者の負担を軽減するために取り組んでいきます。



「保育園落ちた」市議団に多くの声

私が議員になってから2期8年、一貫して取り上げてきた保育園待機児の問題。市はこの間、「待機児は0～2歳児に集中している」ことを理由に、0～2歳を預かる“地域型保育所”を多く整備してきました。

しかし、地域型を卒園する3歳の定員が足りないために、保育園を継続的に利用できないという事例が相次いでいます。

2023年4月入所では、地域型を卒園した子どものうち、96人が保育園への入所申し込みを

しており、1次申し込みの時点で34人が“入所保留”となりました。

共産党市議団には、「2次申込みでも入れなかった」という相談も来ています。

本来、保育所は継続して同じ施設を利用し続ける事が、保護者の安心感や子どもの精神的安定にもつながります。

「小学校に入学するまで同じ保育園に通わせたい。通いたい」という、保護者や子どものあたりまえの願いにこたえられるように、地域や生活圏に配慮しながら、保育園の増設に取り組んでいきます。



東村山市議団ホームページを開設しました！
各市議個人のページもご覧になれます。
<https://jcp-higasimurayama.net/>



YouTubeやってます！→

チャンネル登録もお願いします！



SDGsって何？⑬

人間による乱開発や、気候危機などの影響により、気候の変化や森林の減少など、生態系に深刻な影響が出ています。

日本国内でも、林業の衰退などにより、森林環境の悪化が深刻化しています。

2050年までにCO₂の排出量をゼロにすることや、森林の乱開発の阻止など、具体的な対策が求められています。

日本としても、先進国として技術支援など、国際的な責任を果たしていく必要があります。

SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標の15番目は、陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化の阻止、回復及び生物多様性の損失を阻止する、です。

また、気候危機の影響による生態系の変化もあり、野生生物が民家などに侵入する被害も発生しています。



お困りのことなど、お気軽にご相談ください。

■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室

日時：毎月第1水曜日(月により変更有)

※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

■しんぶん赤旗をお読み下さい！

日刊紙 月額3,497円

日曜版 月額 930円

お申込み、お問い合わせは

渡辺みのるにご連絡ください。



渡辺みのる子育て日誌⑳

先日、トランポランドに行ってきた。

倉庫を改装した施設で、様々なタイプのトランポリンがあり、遊ぶことができる。

長女と次女は私と一緒に大人用、3女は妻と一緒に幼児用のスペースに。

特に、運動が大好きな次女は1時間の利用時間いっぱい飛んでいたが、長女と私は、30分ほどで疲れてしまった。

トランポリンは全身運動。翌日には全身一特に腹筋から下ーが筋肉痛に…。

子どもたちは、好きなユーチューバーが行っていた場所に行けた事で大喜び。

隣にはキックボードを乗り回せる施設もあり、「今度はあっちに行きたい！」。

子どもの今の時間は今しかない。なるべく多くの体験をさせてあげたい。

Twitter



Facebook

